

別紙1 新たに「選定」した建物や庭園

NO	選定番号	区	選定名称	推薦理由（抜粋）
1	第15-001号	下京	たかくらかいがん 高倉会館	明治6年（1873）に建てられた木造平屋建、総けやき造の講堂。大正11年（1922）、高倉学寮（大谷大学の前身）の講堂「貫練堂（かんれんどう）」を引き継ぎ、高倉会館として開館した。
2	第15-002号			非公表
3	第15-003号	下京	えむらしょうてんしゃおく 江村商店社屋	昭和13年（1938）に建築された店舗併用住宅。屋根は、1、2階共一文字瓦で美しく整えられている。8畳のみせの間は、格天井と豪華である。
4	第15-004号	左京	かんさいせみなーはうす 関西セミナーハウス	昭和42年（1967）に建築家・増田友也（元京都大学工学部教授）によって手掛けられたモダニズム建築の建物。豊臣秀吉の三百年祭につくられた能舞台は、丸い柱が特徴的。
5	第15-005号	左京	もりいえ 森の家	設計者は澤島英太郎とされ、西向日の「向日庵」や北白川の「山本家」によく似ている。また藤井康二の設計した「聴竹居」にも見られる、小屋裏の丸い通気口のデザインとよく似た意匠を持つ。
6	第15-006号	左京	みなみやまだけ 南山田家	この建物は京都御所から移築したものと伝えられている。玄関の隣には式台がある。武家屋敷のような畳の間が田の字に配置され、台所（もとは土間）、縁側という間取りである。
7	第15-007号	東山	ひがしやまはてる 東山ホテル	築100年前後の建物。内装は和風と大正風な洋風をMIXしたような作りになっている。当時の真鍮の把手やガラス、建具、照明器具等、昔を感じられる。
8	第15-008号	東山	あかがねりぞーときょうと AKAGANERESORTKYOTO ひがしやまいちきゅうにご HIGASHIYAMA 1925	大正14年（1925）に建造された伸銅会社の社長の旧邸宅。厳かな正門を抜けると竹林と銅、燈籠の灯りが織りなす幽玄の世界が広がっている。屋根や雨樋などいたるところに贅沢にあしらわれた銅が目を引き、熟成した青銅の輝きを放っている。
9	第15-009号	山科	さいしゅうじ 西宗寺	文明13年（1481）に開かれた寺院で、山科本願寺を建立した蓮如上人御往生の地と伝わる。現在の本堂は弘化2年（1845）再建、北門（正門）は明和6年（1769）建築。春には広々

				とした境内一面に桜が咲き誇る。
10	第 15-010 号	下京	じゅうしんかいかん 重信会館	昭和 5 年 (1930) に建築された寄宿舎で、昭和初期の建築らしいアールデコの特徴が味わえる。中央に入口、両脇に丸窓のある左右対称のつくりを基本とし、印象的な窓飾りや階段の意匠、薦の絡まる外観など西洋と東洋が融合したエキゾチックな建造物。
11	第 15-011 号	南	しままつおじんじゃ 嶋松尾神社	産土神とされている嶋松尾神社は、松尾大社の分霊社で三神が祀られている。松尾祭の出発点であり、神幸祭・還幸祭で七社の神々を先導するのが嶋地区と吉祥院地区の榊御面とされている。
12	第 15-012 号	右京	ゆりあん 優里庵	築 200 年を超える茅葺き屋根の古民家。梁や柱などの建材に立派なものが多く使われているとともに、おくども残っている。令和 6 年 (2024) に農家民宿として開業。